

# 城山ニュータウンの盛土について

阪神大震災以降、造成地の盛土が地震によって地すべりを起こし、大きな被害を与えることが知られるようになりました。実際、本物件にお問い合わせをいただいているお客様も盛土による被害を心配をされるケースが多いことから、今回当社としましては、地盤調査を第三者の立場(地盤セカンドオピニオン®)で解析を行なっている地盤ネット株式会社に依頼をさせて頂きました。



## Q 盛土とは?



盛土とは、建築物基礎、道路、堤防などを築く際に、低い地盤や斜面上に土砂を盛り上げて高くし、平坦な地表を作ったり、また周囲より高くする工事のことです。またその工事によって盛られた土砂そのものを指します。



## Q 盛土造成品質について



盛土造成品質	盛土造成品質の評価は、次の4段階で表示した。
◎	盛土造成品質は極めて良い
○	住宅地盤として十分な盛土造成品質である
△	材料または施工管理に課題がある
×	住宅地盤として必要な性能を満たさない

盛土の品質に係る要素は、主に盛土材料(土砂)の品質と、盛土の締固め工事の品質の2つとなります。

### 盛土材料の品質

今回の造成工事で用いられた材料は、砂を主体とした(砂質土)と呼ばれる土砂を3種類用いました。やや、礫分が少なく若干粒径が揃っていますが、良質な砂質土を使用されています。

また、材料を採掘する際には盛土材料の品質検査を入念に行ないました。

### 盛土の締固め工事の品質

盛土の締固め工事の品質についても、密度管理強度管理といった施工管理を充分に行なっており、住宅地盤として十分な品質を有しております。

## 「ニューファクトリーひさい工業団地」(津市戸木町) 東側の丘陵地より採取しました!!



平成25年3月14日撮影

調査担当者:株式会社 環境地質  
 稲垣秀輝…博士(工学)、  
 修士(理学)、技術士  
 (総合技術管理・応用理学・建設・森林)  
 大久保拓郎…技術士補(建設)、  
 地質調査技士、地質情報管理士

※地盤ネット株式会社「地盤リスク評価書」より

## 評価箇所

住所:三重県津市城山1丁目2137地内  
 区画番号:城山ニュータウン 15号地 26号地 28号地 34号地

「城山ニュータウン」の  
 詳しい情報を知りたい方は

太洋不動産 三重

検索



## Q 盛土地すべり(滑動崩落)について



盛土地すべり(滑動崩落)のリスク	盛土造成品質の評価は、次の4段階で表示した。
◎	地盤リスクは極めて低く、無視できる
○	地盤リスクは低い
△	地盤リスクは中程度
×	地盤リスクが大きい



(地表面の角度が急になるほどリスクが高い)



造成前の地表面 ※平成25年3月14日撮影

当物件の造成前の地表面や造成後の地形はほぼ平坦であるため、盛土の地すべりの地盤リスクは極めて低く、無視できるという評価です。

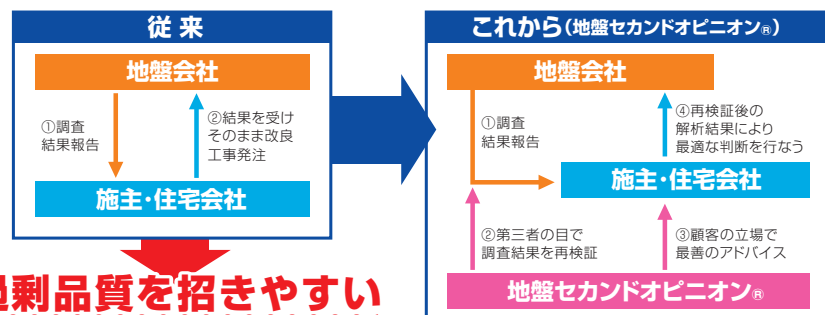
調査担当者:株式会社 環境地質  
 稲垣秀輝…博士(工学)、  
 修士(理学)、技術士  
 (総合技術管理・応用理学・建設・森林)  
 大久保拓郎…技術士補(建設)、  
 地質調査技士、地質情報管理士

※地盤ネット株式会社「地盤リスク評価書」より

## ■地盤セカンドオピニオン®とは?

現在、多くの地盤調査は地盤改良工事会社(もしくは関連会社)が行なっていますが、ほとんどの場合、住宅会社・お客様は地盤調査会社の調査結果のみで、言われるがままの地盤改良工事を実施しているケースが多いようです。しかし、地盤改良工事にかかる費用は非常に高く、家づくりの資金計画を大きく変化させる要因になるほどです。

しかし、地盤に関する専門的な知識がないと、疑問に思いつつも地盤調査会社が勧める高額な地盤改良工事を行わざるを得ません。そんな地盤業界の「？」な状況を改善するために、地盤改良工事を受注しない地盤解析専門会社の地盤ネットが公平な第三者の立場から地盤調査データを解析するサービスが「地盤セカンドオピニオン®」です。



過剰品質を招きやすい

地盤調査データを公平な立場で高度解析する  
**地盤ネット株式会社**  
 JIBANNET 〒1103-0027 東京都中央区日本橋1-7-9 ダウイン日本橋179ビル6階  
 東証マザーズ コードNo.6072 ホームページ 地盤ネット 検索

判定(地盤解析)の実績  
 累計72,800棟  
 以上が地盤解析を利用  
 2013年12月現在

登録ビルダー数  
 累計5,700社以上の  
 ハウスメーカー、工務店  
 などが登録  
 2013年12月現在

## Q 津波の浸水の可能性はありますか?



当物件は**海拔14m以上**に立地(津市沿岸地域標高マップより)しており、**三重県防災対策部公示「津波浸水予測図」(平成23年度版)**において、**浸水エリア外**に位置しております。